

森中だより



3月号

令和3年3月19日発行

横浜市立森中学校 校長 吉原 準一

本校の卒業式が終了いたしました。森中にとっては、37回目。3年生にとっては、中学校での最初で最後の卒業式。私にとっては、森中で4回目の卒業式でした。お陰様で、今年もまた、会場内の最高のポジションで式に参加させていただきました。大変光栄に思っております。卒業生それぞれが実に良い表情で大変に素敵でした。163名の旅立ちです。今年は、「喜びを感じる心」を一緒に考えてもらいました。これからも、「日常」を大切に頑張っていきたいと思っております。森中の37回卒業生に「幸」多かれと祈ります。京急沿線には、モクレンが目立つようになりました。

校長 吉原 準一

3年生 ～新たな扉を開いて～

この3年間本当に素晴らしい学年でした。穏やかで温かく、思いやりに溢れていました。また人の話をしっかりと目を見て静かに聞ける態度は何度も校長先生に褒められました。学年主任として、本当に自慢の学年でした。昨年度末から新型コロナウイルスの影響で休校になり、学校での学習や部活ができなくなったり、また行事も体育祭と修学旅行が中止になったりと、我慢をすることが多くありました。そのため特別日課の時間割に遠足とスポーツ大会を2日間開催しました。子供たちの楽しそうな笑顔を見て、本当にやってよかったと感じました。特別日課の時間割が始まり、素敵な学年とのお別れが日々近づいてくると子供たちと一緒に過ごした時間が思い出され、別れるのがつらい気持ちにもなりました。一日一日を愛おむように、各行事を子供たちは精一杯楽しんでいました。卒業式に向けての練習では気持ちを込めて取り組んでいたことが印象的でした。卒業という最後の扉を開き、新たなステージの扉を前を向いて堂々と開いていってくれることを願っています。3年間緑学年のためにご支援していただいた皆様、温かく見守っていただいた地域の皆様本当にありがとうございました。

3年学年主任 中谷 郁

2年生 ～皆で充実した1年間に～

4月に、2年生の皆さんは最高学年へと進級します。そのように実感している人は、まだ少ないかもしれません。しかし、1年という期間はあっという間に過ぎていくでしょう。限られた期間の中で、何をすべきか。3年生では、卒業後の進路について、じっくりと考えていきます。「希望する高校に合格したい。」これは誰もが考えることでしょ、私自身もそのように思っていました。ただ、その望みが叶ったからといって、人生のすべてが決まるわけではありません。むしろ、第一希望には残念ながら合格できなかったとしても、別の高校で充実した日々を送っている人もいます。大切なのは、目標に向かって努力すること。結果が出たのち、新たな場所で自分らしく生活ができることではないでしょうか。どのような結果だったとしても、ぶれずに自分の人生を切り開いていく。そのような人は、きっとその後の人生も充実しているように思います。自分自身の人間性や、感性を豊かに磨いていく1年となるよう、願っています。

2年学年主任 大谷 理仁

1年生 ～中堅の学年へ向かいます～

中学校に入学してから、もう1年が経とうとしています。2か月の休校期間からスタートし、これまでとまったく違った生活となりました。様々なところで新型コロナウイルス感染対策をしながらの新しい生活様式の中で、小学校の時とは大きく違う教科担任制の授業や初めての部活動、定期テストなど、戸惑うことが多かったと思います。そうした中でも、学年目標の「Hey!輪」や各クラスの学級目標の下、仲間と共に成長してきました。

間もなく、後輩が入学し、「先輩」と呼ばれる立場になります。まだまだその自覚はないとは思いますが、2年生は委員会や部活などで中心となって活躍する中堅の学年です。また学習面でもしっかりと学習の習慣を身につけ、将来に向けて自分の進むべき道を具体的に少しずつ考え始めたりする時期でもあります。そのためにはより一層の自覚と自立が必要となってきます。自分の力を高め、そして後輩たちの手本となって引っ張っていける存在となり、いずれは森中の頼れる柱になってほしいと思います。

1年学年主任 内山 菜美

令和2年度 第37回卒業証書授与式

3月11日（月）に、37回目の卒業証書授与式が行われました。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、保護者一名の参加になり、座席は距離を取っての指定席となりました。また在校生の代表として生徒会役員のみでの参加になりました。本校の教職員も含め、会場全体が卒業生を見守る温かい雰囲気の中、卒業生一人ひとりが緊張しながらもとても素敵な表情で、校長先生から直接卒業証書を受け取りました。昨年末から子供たちはマスクをつけていたので、つけていない表情を見ることができませんでした。今回の卒業式では、証書を受け取る時はマスクを外したので、表情を見ることができました。校長先生は、卒業生全員に「卒業おめでとう」や「しっかり頑張ってね」と声をかけてくださりました。卒業生たちは声を出さないように「ありがとうございます」と返事をしたり、ニコッと微笑んだり、とても立派な態度で成長した姿を、来場の方々に見せていました。

在校生代表送る言葉に続き、卒業生代表別れの言葉では、中学校生活の様々な出来事が次々と思い出されるような内容でした。その後の卒業生合唱「旅立ちの日に」は新型コロナウイルスの影響で十分に練習もできず、またマスク着用での合唱になりましたが、会場内には十分に声が届き、気持ちのこもった歌声で、素敵なハーモニーに思わず胸が熱くなりました。

そして最後に、森中の卒業式だからこそ、愛唱歌「Green」の全体合唱です。令和2年度の3年生と在校生の生徒会代表の生徒たちと教職員が心をひとつにして歌いました。17年前の森中生が創った森中の愛唱歌「Green」の歌詞には、「君と出会えた奇跡」「僕らが築きあげてきたモノ」「僕らは仲間さ 君は一人じゃないんだ」など、心を震わせるフレーズが多くあります。卒業式の最後を飾る歌声は、森中生でなければ味わえない感動がありました。

卒業式を通して、卒業生は堂々とおごそかな態度で、相手の目を見てしっかりと話を聞き、立派に参加しました。本年度の卒業式は、本当に在校生の模範となる記憶に残る立派な式になりました。

春休みを迎えるにあたって

間もなく令和2年度も終わりを迎えることとなります。この1年間、保護者の皆様には様々な学校活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今年度は3月26日（金）に修了式が行われ、27日（土）から4月6日（火）まで春休みとなります。春休みはこの1年間の振り返りをするとともに、新年度に向けた準備の期間となります。新たな気持ちで、4月7日（水）から始まる新年度がスタートできることを期待します。

さて、長期休業期間は、気持ちの緩みから思いもよらない事故やトラブルに巻き込まれることがあります。主な注意点として、

- ①交通事故 ②地域での迷惑行為 ③危険な場所の出入り ④行き先不明や遅い帰宅
- ⑤金品の授受や貸し借り ⑤個人情報の取り扱い ⑤SNS等の不適切利用

などがあります。学校において生徒への指導も行いますが、ぜひご家庭においても未然防止の働きかけをお願いいたします。

生徒指導専任 細谷 政幸



森中学校のホームページでも
情報を公開しています。